資料2

呉市地域公共交通計画（仮称）について

令和６年３月２７日(水)

呉市地域公共交通協議会事務局

1．これまでの経過

令和5年度

10月31日(火)	第2回呉市地域公共交通協議会
11月18日(土) ～ 12月10日(日)	第1回地域の交通に関する意見交換会(市内18か所)
1月16日(火) ～ 1月31日(水)	事業者ヒアリング
1月24日(水)	第3回呉市地域公共交通計画検討委員会(分科会) ・ 地域の交通に関する意見交換会について ・ 呉市地域公共交通計画(仮称)について
2月23日(金) ～ 3月3日(日)	第2回地域の交通に関する意見交換会(市内6か所)
3月4日(月)	第4回呉市地域公共交通計画検討委員会(分科会) ・ 事業者ヒアリングの結果について ・ 地区毎のサービスレベルの考え方について
3月27日(水)	第5回呉市地域公共交通協議会(本日)

※第3回及び第4回呉市地域公共交通協議会は書面審議(計画策定に関する議題無し)

２．計画策定の考え方

新たな計画策定の背景と方向性

〇これまで

- 旧呉市交通局から民間事業者に路線譲渡し，合併町では生活バスを運行
- 収支率の悪化に起因する減便，車両の小型化，路線再編を実施

➡路線をどうするのか？という視点で取り組みを実施

〇これから

- 「人のくらし」を中心とした地域全体で支える交通体系の実現

➡人の移動に着目した視点への転換

方策

〇行政主導による目標サービス水準の具体的な目標設定（ステップ1）

- 各地区毎の現状把握とニーズ調査から目標サービス水準を設定

〇公共交通ネットワークの再構築（幹-枝-葉モデル）（ステップ2）

- 移動サービスの確保方針と，乗換えを容易・魅力的にする結節点の機能拡充

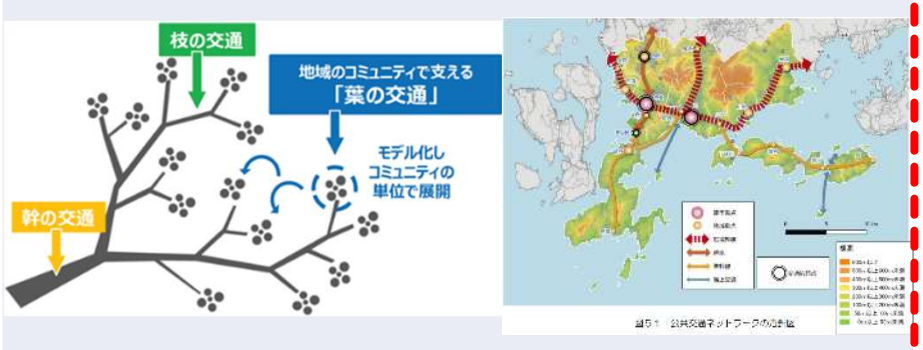
〇適切な支援や協働による効率的で持続可能なサービス提供（ステップ3）

- 移動サービスを誰がどのように提供？市や地域の支援は？住民主体による交通手段の検討

〇そして，あらゆる視点からの徹底的な改善や，他分野との連携を幅広く推進

- 利便性（時刻表，路線図，ダイヤ，系統等），担い手確保，３つの「共創」の取組など。

3．計画策定に向けたステップ

策定ステップ	設定すべき目標	検討・整理方法	整理イメージ
ステップ１ 目標サービス水準の設定	地域の**将来像の実現**や，市民・来訪者の**活動機会を確保**する観点から，移動を支える**サービス改善の方向性**を設定	**住民意見交換会**で移動の困り事，地域の将来像，交通サービス改善策を議論 **事業者ヒアリング**から交通サービス提供の現状や課題，方向性を把握 ☞**地区カルテ**に整理し，**分科会**にて方向性を検討	**住民意見交換会** 目的地 課題，将来像 行ける・行けない **事業者ヒアリング** 事業収支，連携強化，担い手不足 **地区カルテ** 6. 課題・地区の目指す姿につい 課題 目指す姿 取組み方向性
ステップ２ 公共交通ネットワークの再構築	**目標サービス水準**を設定し，それを実現するための公共交通の**階層的なネットワーク構成（幹-枝-葉）**や **結節点**などを設定	**Step2-1:幹線を仮決め** 幹線に位置づけるべき路線やサービス水準を設定(ただし域外への接続も考慮) **Step2-2:枝・葉を検討** 幹線に接続し各地域をカバーする路線や運行形態，結節点などを仮設定 **Step2-3:上記を相互に調整**	 **第２回協議会からの更新部分**
ステップ３ 各交通手段の効率的かつ持続可能な運行	どの交通手段を，誰が，どのように運行するか？支援するか？	民間主体で行政支援，行政が民間に委託（エリア一括：定額複数年），地域の事業者や住民等が主体となり行政が支援，その他の方法を検討	

4．住民意見交換会，事業者ヒアリングの概要

住民意見交換会の開催概要（詳細については，参考資料1を参照）

	第1回	第2回
開催日時	令和5年11月18日(土)～ 令和5年12月10日(日)	令和6年2月23日(祝)～ 令和6年3月3日(日)
開催場所	市内18か所	市内6か所
参加者数	316名	172名
テーマ	①あなたの地域でどんな「移動の困り事」がありますか。 ②地域の交通でどこからどこへいきたいか，どうすれば使いやすくなるか。	①将来(5年後くらい)の地区の目指す姿は？ ②地区の目指す姿を実現するために，交通はどんなサービス改善が必要か？

事業者ヒアリングの実施概要（詳細については，参考資料2を参照）

期間	令和6年1月16日(火)～令和6年1月31日(水)
対象事業者数	32社(路線バス，法人タクシー，海上交通事業者) ※呉市生活バス運行事業者を含む。
実施方法	郵送又は電子メール
回答数	16社(バス：7社，タクシー：6社，船舶：5社) ※バス・タクシーを兼業している会社があり，合計数は一致しない。

5．行ける・行けない表（案）について

行ける・行けない表（警固屋地区での作成例）

警固屋7丁目から（徒歩圏は10分と設定）

施設	呉市役所	警固屋まちづくりセンター	呉医療センター	中国労災病院	呉共済病院	呉医師会病院	ゆめタウン呉
始業・開館	8:30	8:30	8:00	8:15	8:10	9:00	9:00
バス・鉄道で行けるか？	○ バス⇒バス	○ バス	○ バス	○ バス⇒鉄道	○ バス	○ バス⇒バス	○ バス
バス・鉄道で始業・開館に間に合うか？	○	○	○	○	○	○	○

警固屋7丁目から（徒歩圏は15分と設定）

施設	音戸高校	呉青山高校	呉工業高校	呉工業高等専門学校	呉商業高校	呉市立呉高校	呉三津田高校	呉宮原高校	呉港高校	清水ヶ丘高校	広高校
始業	8:35	8:30	8:35	8:50※	8:30	8:30	8:30	8:20	8:25	8:30	8:20
バス・鉄道で行けるか？	× バス停から徒歩約20分	○ バス	○ バス⇒バス	○ バス⇒鉄道 バス	○ バス⇒バス	○ バス⇒鉄道 バス	○ バス	○ バス	○ バス⇒鉄道	○ バス	○ バス⇒鉄道
バス・鉄道で始業に間に合うか？	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※安芸阿賀駅又は先小倉バス停に8:25以前に到着する便に乗車すること。

６．今後の検討方針

「市全体の基本的な考え方」及び「地区の目指す姿」から

「取り組み（方向性）」を整理

計画の方向性

「人のくらし」を中心とした地域全体で支える交通体系の実現

- 課題分析結果
- 地域の交通に関する意見交換会での意見
- 行ける，行けない表
- 事業者ヒアリング
- 公共交通ネットワーク

地区の目指す姿

•「市全体としての基本的な考え方」をもとに地区ごとの特性を踏まえて「目指す姿」，「目標サービス水準」を設定

市全体の基本的な考え方

わかりやすい	使いやすい	安心・安全

・・・等

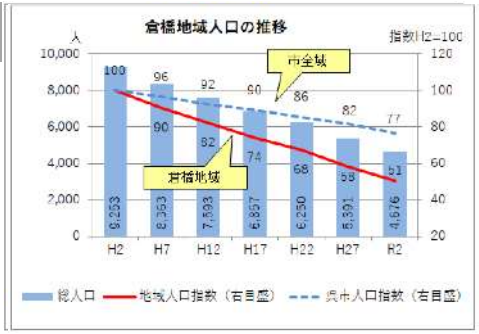
取り組み（方向性）

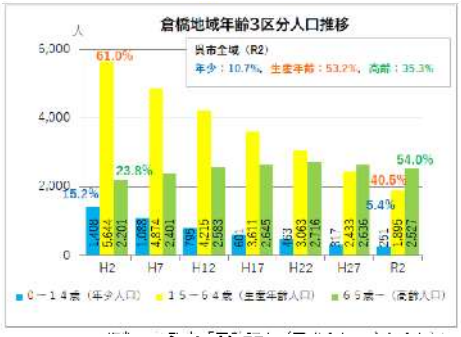
•「地区の目指す姿」，「目標サービス水準」を実現するために必要な施策・事業の方向性を検討

7．地区カルテについて

地区の現状

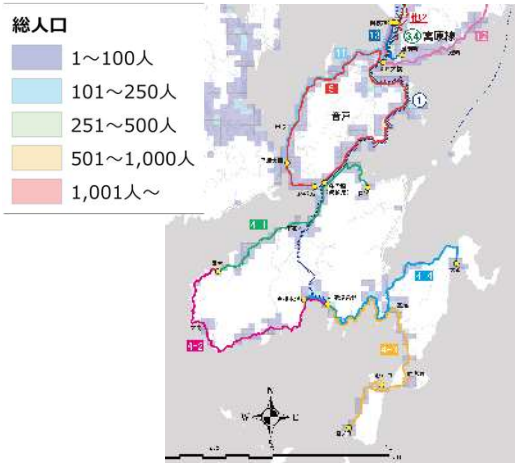
■地域人口（令和２年国勢調査）
4,676 人
（総人口に占める割合：2.2%）
■地域面積
5,446ha
（総面積に占める割合：15.4%）





	平日概ね運行本数		平日運行時間帯(上り)		平日運行時間帯(下り)	
	上り	下り	始発	終発	始発	終発
鉄道駅	－	－	－	－	－	－
生活バス	－	－	－	－	－	－
倉橋地区生活バス	1本/時	1本/時	6時台	18時台	6時台	18時台
民間路線バス						
広電バス呉倉橋島線	1本/時	2本/時	5時台	21時台	5時台	21時台
タクシー						
法人3社	－	－	－	－	－	－
航路	－	－	－	－	－	－

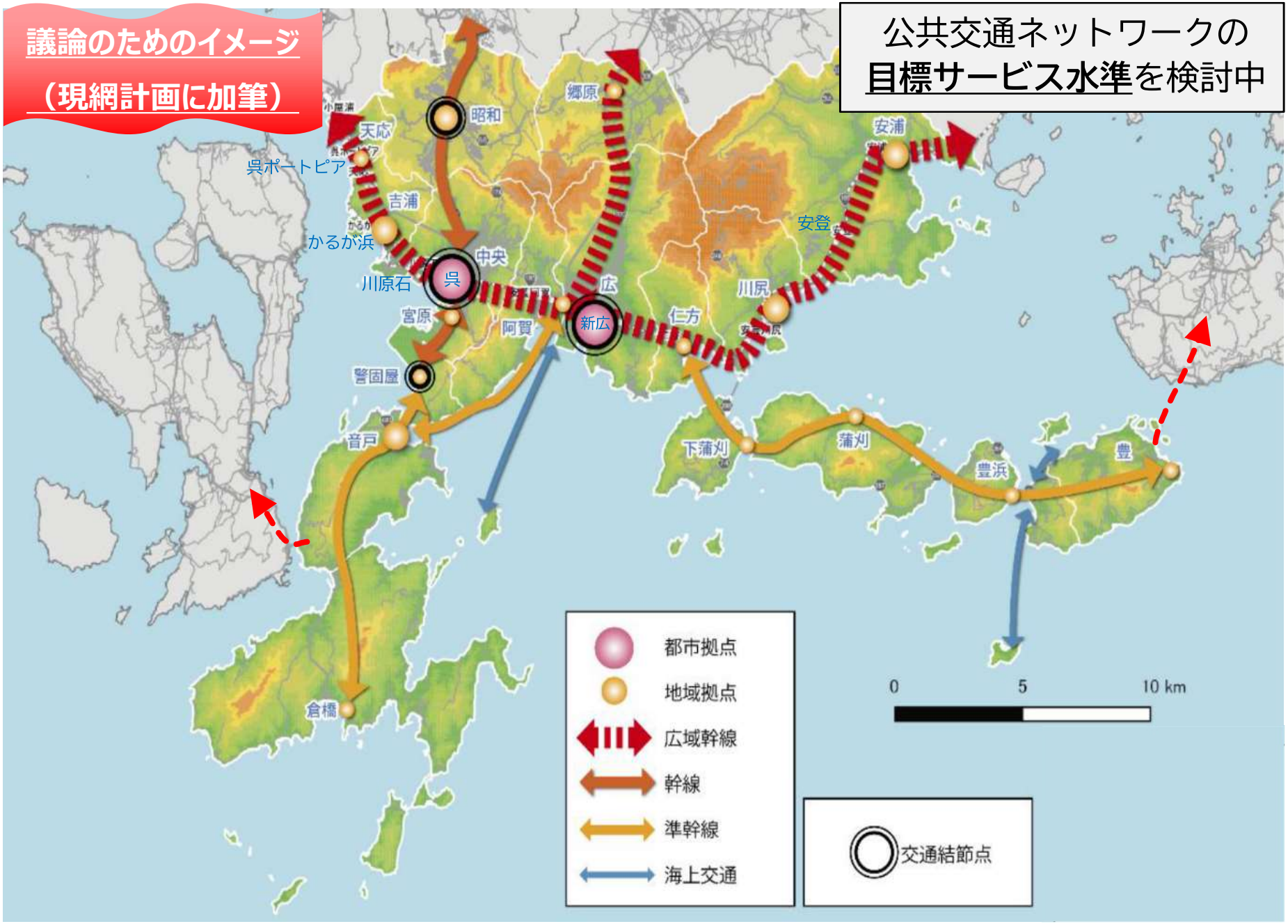
主な施設
買い物施設
•藤三　宇和木店
•Aコープくらはし店
病院
－
学校(高校以上)
－
公共施設・文化施設
•倉橋市民センター
•倉橋歴史民俗資料館
•長門の造船歴史館
•倉橋図書館
•呉市倉橋グラウンド
•呉市倉橋体育館
•呉市倉橋温水プール
観光資源
•くらはし桂浜温泉館



地区の課題・取組み(案)

課題	「地区の目指す姿」	取り組み（方向性）
現在，整理中	現在，整理中	今後，検討予定

8．公共交通ネットワークの検討イメージ

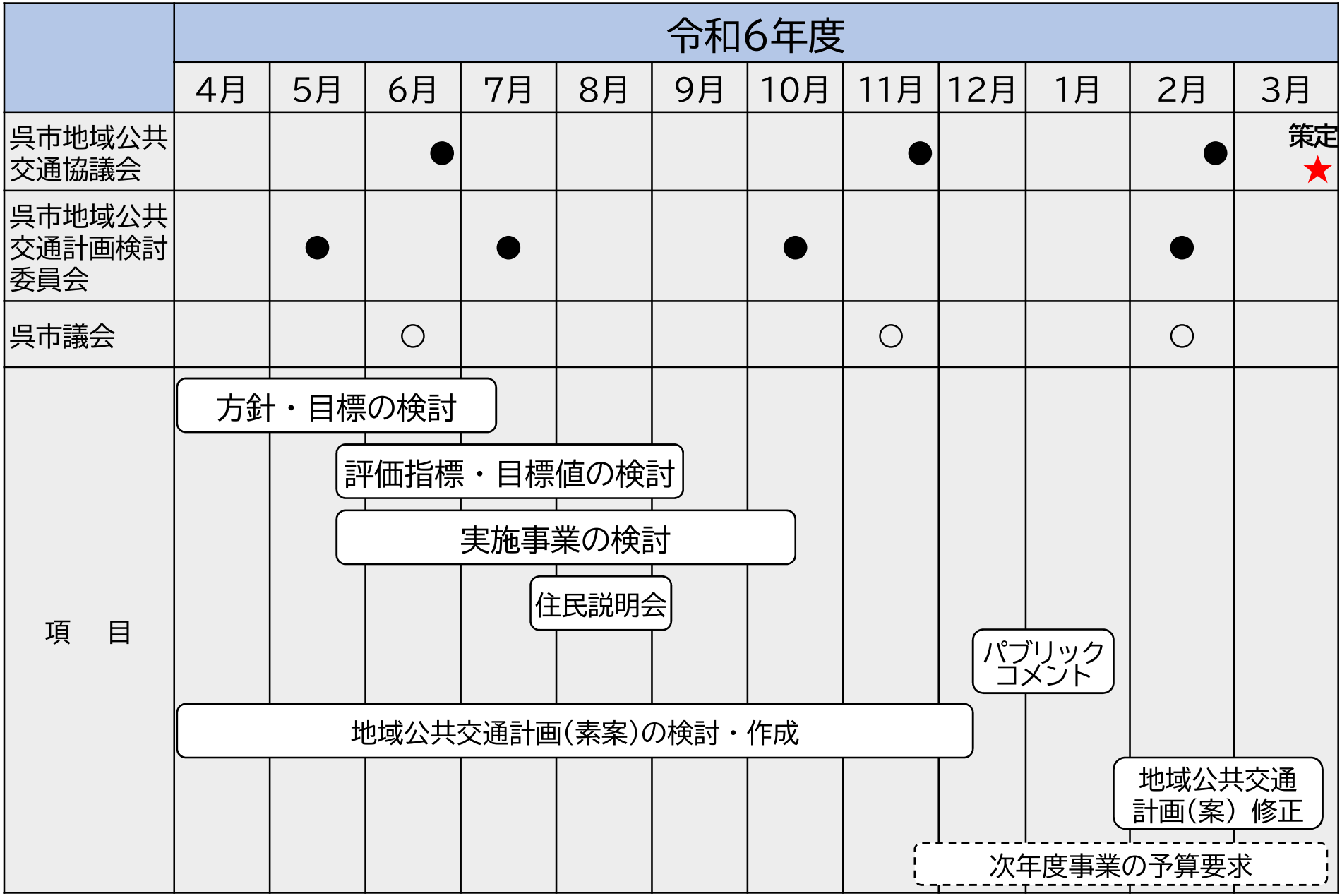


９．目標サービス水準の分類

分　類	内　容　・　特　徴　など
使いやすさ	運行時間帯（始発・終発），便数，乗降場所までの距離，乗継時間，接続性，待合環境，運賃制度（割引制度，支払い方法，お得感），目的地，選択肢の多さ　等
安心・安全	定時性，速達性，欠便（欠航）の少なさ，信頼性，環境性能・静粛性が高い，ユニバーサルデザイン化　等
わかりやすさ	情報量（運行（運航）情報，乗継場所，運賃制度，割引制度など），情報の周知方法 等
その他	コミュニティの活性化，QOLの向上（自立した生活）　等

※赤字：ネットワークの設定時に主に考慮する要素

１０. 策定スケジュール（案）



参考資料１

地域の交通に関する意見交換会について

令和６年３月２７日(水)

呉市地域公共交通協議会事務局

1．第１回意見交換会の開催概要①

目的

・地域の交通の現状を知っていただく。
・地域の交通の課題を共有化し，地区の目指す姿を共に考える。
・地域の交通を考える「場づくり」
・地域内，地域外への移動手段について，各地区の方向性の検討。

期　　間	令和5年11月18日(土)～令和5年12月10日(日)
開催場所	市内18か所
内　　容	以下の2テーマについて，ワークショップ形式により，意見交換を実施 **テーマ1：** あなたの地域でどんな「移動の困り事」がありますか。 **テーマ2：** 地域の交通でどこからどこへいきたいか，どうすれば使いやすくなるか。
参加者数	316名

1．第１回意見交換会の開催概要②

会場の様子

2. 意見交換会で出された主な意見①

テーマ１：あなたの地域でどんな「移動の困り事」がありますか。

地区	課題	解決策
広, 宮原, 仁方, 郷原	高齢者が増えて買い物・通院弱者が多い。	移動販売車を増やす。利用しやすいバス停環境づくり。乗合タクシーを運行する。
宮原, 昭和, 阿賀	買い物に行き, 大きな荷物を持って帰ることが難しい。	企業に賛助金を出してもらい, 買い物バスを運行する。移動販売車を増やす。帰りはタクシーを活用。
吉浦, 宮原, 昭和, 仁方	坂, 段差が多い。	小型車両を活用して, きめ細やかに運行する。
吉浦, 天応, 川尻	道路が狭いが, 車両の速度が早く, 危険である。	速度制限し, 路面にペイントする。カーブミラーの増設, 注意喚起の標識を設置する。道路マップの作成。
広, 警固屋	車椅子, ベビーカーでの移動が難しい。	道路・歩道の改良, ノンステップバスの導入

2. 意見交換会で出された主な意見②

テーマ２：地域の交通でどこからどこへ行きたいか，どうすれば使いやすくなるか。

地区	課題	解決策
昭和, 天応, 仁方, 倉橋	広島方面, 呉市内, 江田島市, 東広島市に買い物, 通院で行きたい。(年代, 目的により異なる)	曜日を限定するなど, 何かを我慢する発想を持つ。便数を増やす。運賃を上げても良い。
仁方, 安浦	広の国際通り, 国際大学(黒瀬)に行きたい。	新規ルートを設定する。
広	バスで行きたいところが少ない。	スーパーと医療施設が入った複合施設にバスが乗り入れて, 車椅子・高齢者手押し車が店舗と近い場所で乗降できるようにする。
警固屋, 昭和, 倉橋, 豊浜	最終電車を降りた後にバスがない。また始発電車に間に合うバスがない。終バスが早く, 部活帰りに使えない。通学に使えない。	早朝, 深夜の利便性を高める。終バス時間の延長。

2. 意見交換会で出された主な意見③

テーマ２：地域の交通でどこからどこへ行きたいか，どうすれば使いやすくなるか。

地区	課題	解決策
阿賀，蒲刈，倉橋，豊浜，豊	直通便がなくなった（無い）ので不便。	倉橋・阿賀～鍋桟橋～呉駅の料金を上げてでも直通にする。豊～広島行きの再開。せめて呉まで運行する。豊浜～仁方・広島行きの船があれば利用したい。
昭和，中央，安浦	バスルートが大回りなので不便。	病院を経由するルートを新設する。デマンドバスをフレキシブルに運行する。
阿賀，中央，蒲刈，音戸，倉橋	バス停の待合環境が悪い。乗継が不便。	トイレ，ベンチ，上屋の設置。運行本数の増加。
吉浦，天応	駅のスロープが，施錠されており，使えない。	スロープが使えるようにする。エレベーターを設置する。
広，安浦，豊浜	JRとバスの接続が悪い。JRの便数が少ない。	JRと広電，瀬戸内産交が連携してダイヤ調整する。（使いたい方面を考慮）

2. 意見交換会で出された主な意見④

テーマ２：地域の交通でどこからどこへ行きたいか，どうすれば使いやすくなるか。

地区	課題	解決策
昭和, 郷原, 豊浜, 豊	バス停までが遠い。	小型車両を活用して，きめ細やかに運行する。フリー乗降を導入する。バス停を移設する。
広, 宮原, 警固屋, 中央, 下蒲刈	運行ルート, 乗り継ぎ, 時刻表, バス停の位置がわかりにくい。	わかりやすいルート設定にする。時刻表を一括化（フォーマット化）する。目的地とバスの時刻がリンクするような情報など情報発信を充実させる。
宮原, 警固屋, 音戸, 倉橋, 豊浜	いきいきパス（高齢）の割引率が高すぎる。昼間に1人しか乗ってないのは申し訳ない。	いきいきパス（高齢）を100円ではなく，子ども料金にする。また高校生の割引率を上げる。
蒲刈, 安浦, 豊浜, 豊	タクシーの料金が高い。安芸灘大橋の通行料金の負担が大きい。	タクシーを年齢に応じた運賃体系にする。

2. 意見交換会で出された主な意見⑤

テーマ２：地域の交通でどこからどこへ行きたいか，どうすれば使いやすくなるか。

地区	課題	解決策
蒲刈	蒲刈～広地区まで行くとバス運賃が高い。	運賃に上限を設定，補助金を確保する。
広，仁方	交通空白地（交通不便地域）がある。	地域内循環バスの運行，ライドシェアを活用する。
吉浦，安浦	タクシーの利用できる時間が限られる。台数，運転手が少ない。	ライドシェアを活用する。
宮原，川尻，蒲刈，音戸	免許返納後に生活できるかが不安。	高齢者向けのタクシー助成券を発行する。バスの本数を充実させる。
倉橋，豊	バスの運転手が少ない。	運転手の給与アップ。NPOによる運送を検討する。

3. 第２回意見交換会の開催概要①

目的

・地域の交通の現状を知っていただく。
・地域の交通の課題を共有化し，地区の目指す姿を共に考える。
・地域の交通を考える「場づくり」
・「地区の目指す姿」の方向性（キーワード）の検討。

期　　間	令和6年2月23日（祝）～令和6年3月3日（日）
開催場所	市内6か所
内　　容	以下の2テーマについて，ワークショップ形式により，意見交換を実施 テーマ1： （5年後をイメージした）地区の目指す姿とは？ テーマ2： 地区の目指す姿を実現するために，交通はどんなサービス改善が必要か？
参加者数	172名

3. 第２回意見交換会の開催概要②

会場の様子

4. 意見交換会で出された主な意見①

テーマ：（５年後をイメージした）地区の目指す姿，それを実現するための改善策とは？

地区	「地区の目指す姿」の方向性（キーワード）	「地区の目指す姿」を実現するためのサービス改善策（キーワード）
吉浦	・利用しやすいJR呉線 ・安心，安全（道路環境） ・ソサエティ6.0（自由に移動） ・若い人が住みたくなる便利さ	・JR呉線の便数，車両数の増加 ・バスの便数増加，速達化，終便時刻の後ろ倒し ・あじさい号の便数増加 ・道路環境，交差点の改善 ・インターネット環境の整備 ・移動販売，無人ドローン配達
天応	・JRの駅を利用しやすく ・自由に移動し，駅を利用したい ・自由に買い物ができる ・移動しやすいまち ・利便性（駅まで自由に移動できるなど） ・駅を安心して使える	・橋上化などにより駅に入りやすくする ・広島方面へのアクセス性 ・サービス水準の平準化（あじさい号の延伸等） ・地区内の回遊性を確保 ・JR天応駅のバリアフリー ・バスとJRの乗り継ぎ
阿賀	・情報周知によるわかりやすさ ・通院，買い物に使いやすい ・安心して免許返納できる ・通学に使える，子どもたちの交通網	・移動しなくても暮らせる ・共助，乗合の促進 ・バス予約アプリ ・移動販売，ドローン配達

4. 意見交換会で出された主な意見②

テーマ：（５年後をイメージした）地区の目指す姿，それを実現するための改善策とは？

地区	「地区の目指す姿」の方向性（キーワード）	「地区の目指す姿」を実現するためのサービス改善策（キーワード）
広	・情報提供，運賃制度の利便性 ・利用に応じた便数の確保 ・アクセス性（バス停までの距離など） ・道路インフラ（通学路，自転車道の確保） ・バスに乗るまでの安全性 ・安定（利用を増やし，バス路線を維持） ・地区内を30分以内で移動できる ・将来性（ベッドタウン化） ・安全性（離合しやすい） ・快適に移動できる ・移動時間を少なくする（渋滞解消） ・呉中心部への移動拠点 ・地区外へ移動しやすい	・ライドシェア，自動運転 ・小型車両で地区内の循環を増やす ・JR新広駅の拠点化 ・ICカードの一元化 ・歩道整備，自転車置き場の改良 ・JR，バスの運賃共同化 ・所要時間の半減 ・時差出勤の推進 ・パークアンドライド推進
仁方	・呉中心部へ行きやすいまち ・安心して歩けるまち	・呉中心部へのアクセス（便数，運休しにくさ） ・まちの安心（子どもが歩ける，雨に濡れない等） ・毎日の生活に役立つ ・確実に乗り継ぎできる ・フリー乗降できる

4. 意見交換会で出された主な意見③

テーマ：（５年後をイメージした）地区の目指す姿，それを実現するための改善策とは？

地区	「地区の目指す姿」の方向性（キーワード）	「地区の目指す姿」を実現するためのサービス改善策（キーワード）
郷原	・買い物，病院に行きやすい ・安心して免許返納できる ・乗り継ぎ場所がわかりやすい ・黒瀬方面へ行きやすい ・利用しやすい移動手段	・小型車両により狭い道路に対応する ・路線バスへ乗り継げる運行時刻の設定 ・商業施設での待合環境整備 ・運賃割引制度の充実 ・地区内に循環バスを運行
豊	・バスのある生活 ・持続可能なサービス ・バスで買い物に行ける ・高齢者が利用しやすいバス	・バスの小型化 ・自動運転の整備 ・ダイヤ改正の迅速な情報周知
豊浜	・歳を取っても自力で移動したい ・呉中心部，県民の浜への直通便 ・待合環境の利便性向上 ・呉中心部へ行き帰りしやすい ・災害でも移動できる ・安心して医療サービスを受けられる ・島内を移動しやすい ・バスを使いやすく（運賃面）	・バスダイヤの最適化（朝夕を充実） ・利用者データの活用 ・小学生が通学しやすいバス停 ・バス代，タクシー代を安くする ・旅客船の運航 ・快速ルートの設定（広島行き） ・バスの大きさを改善 ・生活バスの運行

4. 意見交換会で出された主な意見④

テーマ：（５年後をイメージした）地区の目指す姿，それを実現するための改善策とは？

地区	「地区の目指す姿」の方向性（キーワード）	「地区の目指す姿」を実現するためのサービス改善策（キーワード）
下蒲刈	・バスの運行情報がわかりやすい ・もっと安価に（タクシー，橋代） ・もっと便利に（土日，年末の運行） ・子育てしやすい ・人が増え，空き家が減る	・バスの運行改善，航路の復活，新設 ・住民の安芸灘大橋通行料を安く ・国のサポートを受ける ・民間事業者の工夫（民間企業，NPOの活用） ・プロジェクトチームを作る
蒲刈	・安全（バス車両，待合環境） ・乗降場所，通院，通学等の利便性向上 ・やさしさ（運転士の接遇力向上） ・高校生が通学しやすい	・待合施設に外灯，トイレ，上屋，ベンチの設置 ・乗り継ぎの利便性向上（目的地を充実） ・子どもに優しい地域づくり ・運転士の待遇改善 ・学生定期の割引率
倉橋	・生活する人が便利 ・外から人が来るように ・子ども，通勤者，高齢者も利用できる環境 ・どこでも乗降できる ・買い物したい時間帯にバスがある ・利便性の向上（運賃，便数など）	・バスダイヤの最適化 ・小型バスできめ細やかな運行 ・待合環境整備（Wi-Fi環境，トイレの設置） ・帰り（午後）の便を増やす ・商業施設等との連携 ・快速，急行の設定 ・乗り継ぎ回数の標準化

4. 意見交換会で出された主な意見⑤

テーマ：（５年後をイメージした）地区の目指す姿，それを実現するための改善策とは？

地区	「地区の目指す姿」の方向性（キーワード）	「地区の目指す姿」を実現するためのサービス改善策（キーワード）
倉橋	・買い物がずっとできるように ・学生が直通で通学できる ・半日で買い物，通院を終えることができる ・人と動物にやさしい街 ・使いやすさ（便数，定時性，車内環境） ・持続性（運賃制度，運転士の処遇）	・予約制の乗合交通 ・始発時刻の前倒し，終便時刻の後ろ倒し ・定期船，貨物船の充実（自動運転） ・ペットの同乗 ・江田島行きのバス ・運賃より，やさしい運転 ・ジビエなどの貨客混載
音戸	・地区内で生活できる（通勤，通学，買い物，通院，図書館など） ・使いやすい（地区外にも行ける） ・乗り継ぎがわかりやすい ・移動が便利な地区にする ・災害時でも移動できる ・通学できる ・安全，安心（免許返納，運行の継続，安全性） ・快適なバス待ち環境（バス停を広く，上屋の設置） ・友人と気軽に会える	・利用者を増やす ・利用ニーズに特化して運行する ・日中はバスを小さくする ・確実に帰れる ・乗り継ぎできることをわかりやすく ・近所で助け合い，乗り合う制度 ・利用の多い時間に運行を集中 ・学生が利用しやすい運賃 ・バス停に上屋の設置 ・江田島経由広島行き ・小型車両での運行 ・自治会運営の交通手段

4. 意見交換会で出された主な意見⑥

テーマ：（５年後をイメージした）地区の目指す姿，それを実現するための改善策とは？

地区	「地区の目指す姿」の方向性（キーワード）	「地区の目指す姿」を実現するためのサービス改善策（キーワード）
安浦	・呉，広方面への移動を便利に ・乗り継ぎが便利 ・運転手さんの対応に感謝 ・バス停から家までを便利に ・高齢者にやさしいまち ・若者に住んでもらえる ・効率性（目的の集約，車両の兼用） ・地区のみんなで困ったときは助け合い ・利便性（利用時間帯の拡大，路線延長） ・使いやすさ（利用ニーズに適した運用） ・駅を安全に使える ・安心（人通りを増やす） ・わかりやすさ（車両の外観）	・小用，安登駅での乗り継ぎ，待合環境の改善 ・JR駅のバリアフリー ・黒瀬方面，安芸津病院への移動手段の確保 ・デマンドバスの充実，ライドシェア検討 ・運賃（乗り継ぎ割引，高齢者割引の拡大） ・運行（JRの便数維持） ・駅周辺に駐車場（パークアンドライド） ・駅前をにぎやかにする ・自転車が乗れるバス，電車 ・JR運休時の代替移動手段の確保 ・ラッピングバス，自治会主催のツアー
川尻	・利便性の向上 ・便利な移動（細かな移動） ・まちの安全（道路整備） ・待合環境，乗り継ぎの利便性 ・安心して使える	・運行経路の改善 ・利用しやすい小回りが効く運行（地区内移動） ・より安全な道路整備（道路の拡幅） ・施設とリンクしたバス停

4. 意見交換会で出された主な意見⑦

テーマ：（５年後をイメージした）地区の目指す姿，それを実現するための改善策とは？

地区	「地区の目指す姿」の方向性（キーワード）	「地区の目指す姿」を実現するためのサービス改善策（キーワード）
川尻	・JR川尻駅のわかりやすさ ・道路環境の安全性	・利用実態に応じた便数設定 ・タクシーを利用した移動手段検討 ・運賃，割引制度の柔軟性 ・待ち時間の最適化
中央	・快適に移動できる ・住みやすい ・わかりやすい（乗り場，ルート，運行情報） ・観光客でにぎわう ・災害時も移動できる（信頼性）	・通院に特化したルート設定 ・公共交通の情報周知 ・バス停表示をわかりやすく ・バスの混雑状況の可視化 ・観光客の利用促進 ・観光施策の強化（飲食）
昭和	・人口維持 ・ベッドタウン化 ・呉中心部へ行きやすい ・高齢者が移動しやすい交通 ・病院，買い物に便利な路線	・便数の適正化 ・バスの小型化 ・バス停の改善 ・きめ細やかな運行 ・路線バス，生活バスの乗り継ぎ改善

4. 意見交換会で出された主な意見⑧

テーマ：（５年後をイメージした）地区の目指す姿，それを実現するための改善策とは？

地区	「地区の目指す姿」の 方向性（キーワード）	「地区の目指す姿」を実現するための サービス改善策（キーワード）
警固屋	・安全性（道路整備） ・移動性（自由に移動できる） ・使いやすい（乗り継ぎしやすさ，情報発信） ・飲みに行きやすい ・効率的な運用（バスの便数） ・使いやすさ（店舗内にダイヤを掲示）	・待合環境の改善 ・ワンデーパスの区域拡大 ・歩道の拡幅 ・小中学生の通学に使いやすく ・呉方面の通院，買い物に使いやすく ・病院バスの運行
宮原	・若者が帰ってきたいと思える場所 ・安全性（道路整備） ・利便性（バスを使いやすく） ・安定（助け合いの街　宮原） ・買い物に行きやすい	・危険箇所，不便地域の解消 ・道路標識，表示の改良 ・小型バスの運行 ・買い物代行の実施 ・利用実態に応じた便数設定

参考資料２

事業者ヒアリングについて

令和６年３月２７日(水)
呉市地域公共交通協議会事務局

1. 事業者ヒアリングの実施内容

目的

計画の策定に当たり，交通事業者で把握している現状の交通ネットワークに対する課題をはじめ，担い手不足に関する課題等を調査するとともに，その解決に向けた取組アイデアを計画に反映する。

期　　間	令和6年1月16日(火)～令和6年1月31日(水)
対象事業者数	32社(路線バス，法人タクシー，海上交通事業者) ※呉市生活バス運行事業者を含む。
実施方法	郵送又は電子メール
回答数	16社 バス：7社，タクシー：6社，船舶：5社 ※バス・タクシーを兼業している会社があり，合計数は一致しない。

2. ヒアリング結果（Q1・Q2）①

Q.1　交通ネットワークに関する課題

Q.2　Q.1の解決に向けた取り組みアイデア

事業者	交通ネットワークに関する課題	意見交換会での課題提案	課題解決の取り組みアイデア
バス	道路が狭く，坂が多い場所のニーズに対応できていない。	○	利用者の意見を反映し，選択と集中を図る。
	呉駅周辺以外に拠点がない。		複合機能を有する施設などを拠点化し，短時間で移動可能なまちづくりを推進する。
	呉中心部で路線が重複している。	○	周辺市町と連携し，運行体系の再編検討を行う。
	JR，タクシー，船舶などの事業者と連携できていない。	○	情報の一元管理などで連携する。
	公共交通がわかりにくく，使いにくい。	○	路線番号の改良，外国語表示など，利用しやすいシステムを構築する。
	バス利用者が減少している。	○	運行経路，運行方法を再検討する。
	利用者が減少し，運賃収入と補助金だけでは事業継続が困難。		欠損が残らないような制度を構築する。
	JRとバスのICカードが異なり，不便。	○	交通手段によらず，決裁方法を統一する。
	速達性の向上，渋滞対策のための道路環境整備が不十分。		都市計画に基づき，拠点を整備し，幹線及び支線が相互に補完する交通体系を構築する。

2. ヒアリング結果（Q1・Q2）②

事業者	交通ネットワークに関する課題	意見交換会での課題提案	課題解決の取り組みアイデア
タクシー	利用客減少に伴う，売り上げ低下で事業継続が困難。		住民への利用促進，宣伝。
	観光地周りの交通ネットワーク	○	呉市観光振興課の広報とタクシーの観光地多様性運行。
	給与カット，車両の老朽化により，就業意欲が低下している。		車両台数を適正化し，給与，車両更新費用に充当する。
	高齢化のため，運転手不足。	○	
	後継者がおらず，廃業を検討している。	○	
船舶	少子高齢化に伴う，出作農家，通学生の減少による収入の減少		商用利用の促進，住民への利用促進，宣伝。
	交流人口の減少による，利用客の減少。		周辺市町との連携を強化。
	サービス水準の確保と持続可能な運行計画の両立。		行政，自治会，事業者で必要なサービス水準を検討する。
	呉までの交通アクセスが不便。		都市間バスを充実させる。
	呉港の駐車場台数や渋滞対策に課題がある。		交通インフラの充実を図る。
	運行情報の周知に課題がある。		情報の一元管理などで連携する。

3. ヒアリング結果（Q3）①

Q.3　担い手不足に対する課題

運転手又は船員の年代，在籍年数別の人数

⇒**平均年齢は，　船舶　＜　バス（乗合）＜　タクシー**

48.4歳　＜　53.1歳　＜　67.4歳

⇒**現在の会社での平均在籍年数は，バス（乗合）＜　タクシー　＜　船舶**

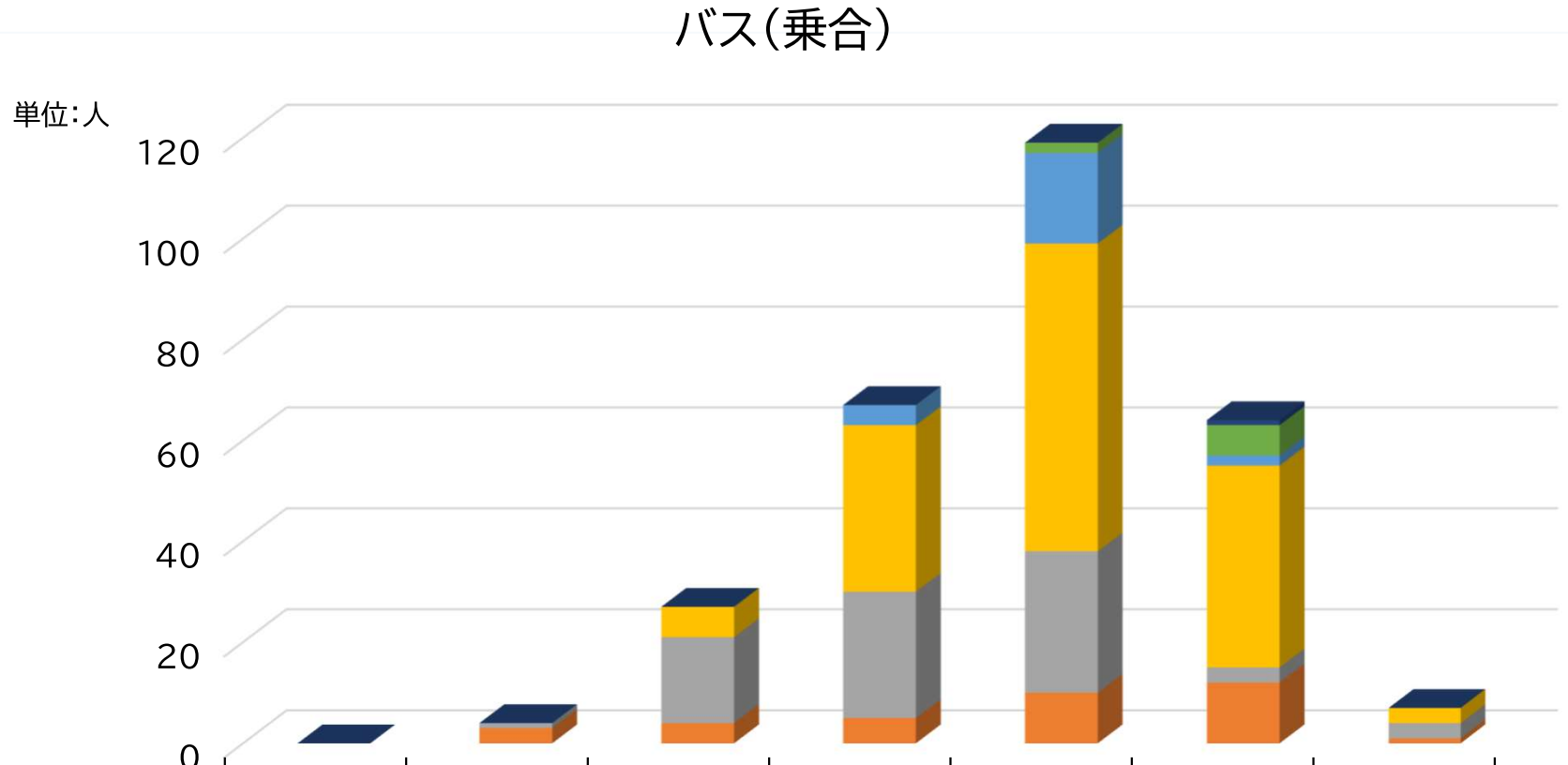
13.0年　＜　13.3年　＜　13.4年

⇒**女性の割合は，どの業種も低い。**

参考：運輸業・郵便行における女性割合は20.5%（ 出典：R2年国勢調査（広島県））

バ　ス　：　288人中0人
タクシー　：　119人中5人（4.2%）
船　舶　：　61人中2人（3.3%）

3. ヒアリング結果（Q3）②

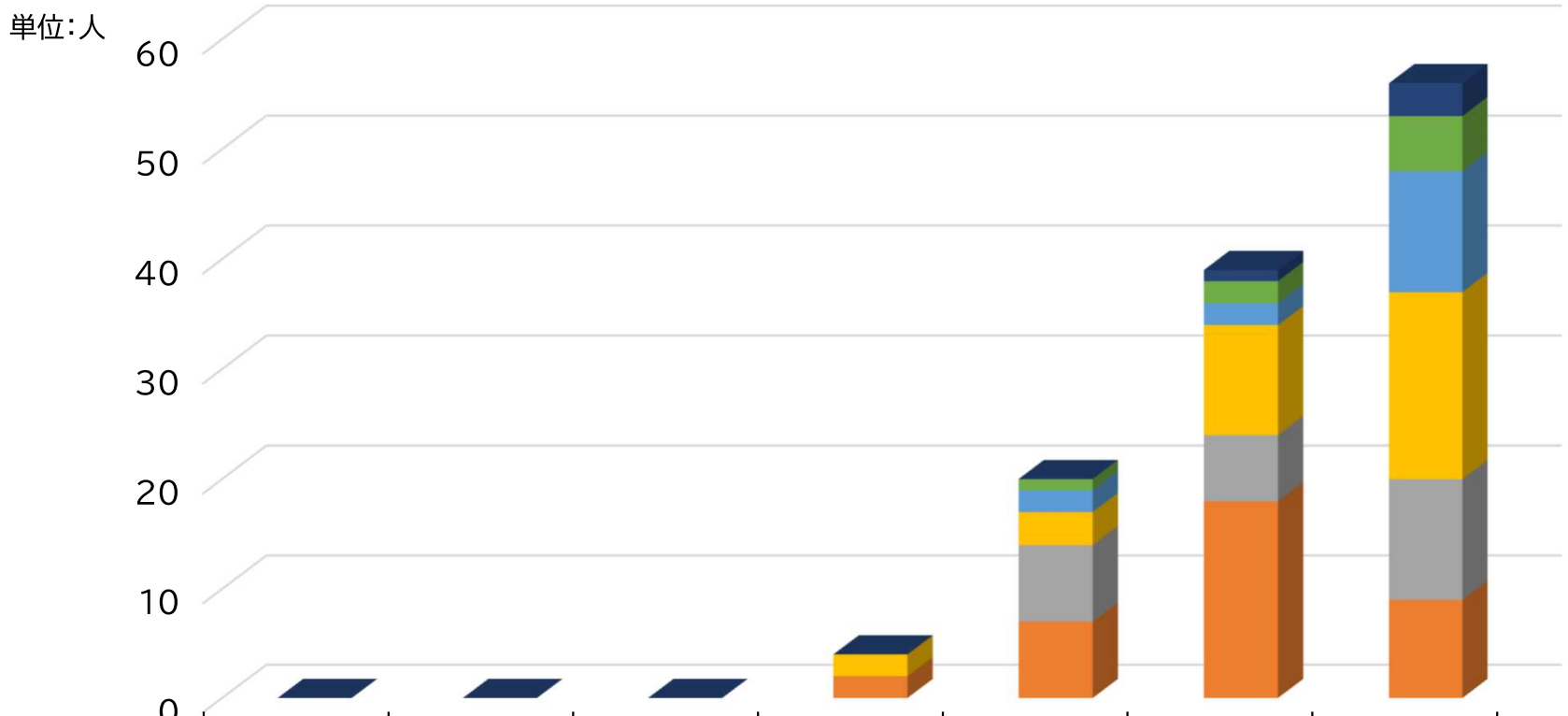


	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代
小計	0	4	27	67	119	64	7
41年 以上	0	0	0	0	0	1	0
31年 ～ 40年	0	0	0	0	2	6	0
21年 ～ 30年	0	0	0	4	18	2	0
11年 ～ 20年	0	0	6	33	61	40	3
5年 ～ 10年	0	1	17	25	28	3	3
5年 未満	0	3	4	5	10	12	1

※データの内，広島電鉄㈱の平均在籍年数は，旧呉市交通局から路線移管以降の年数

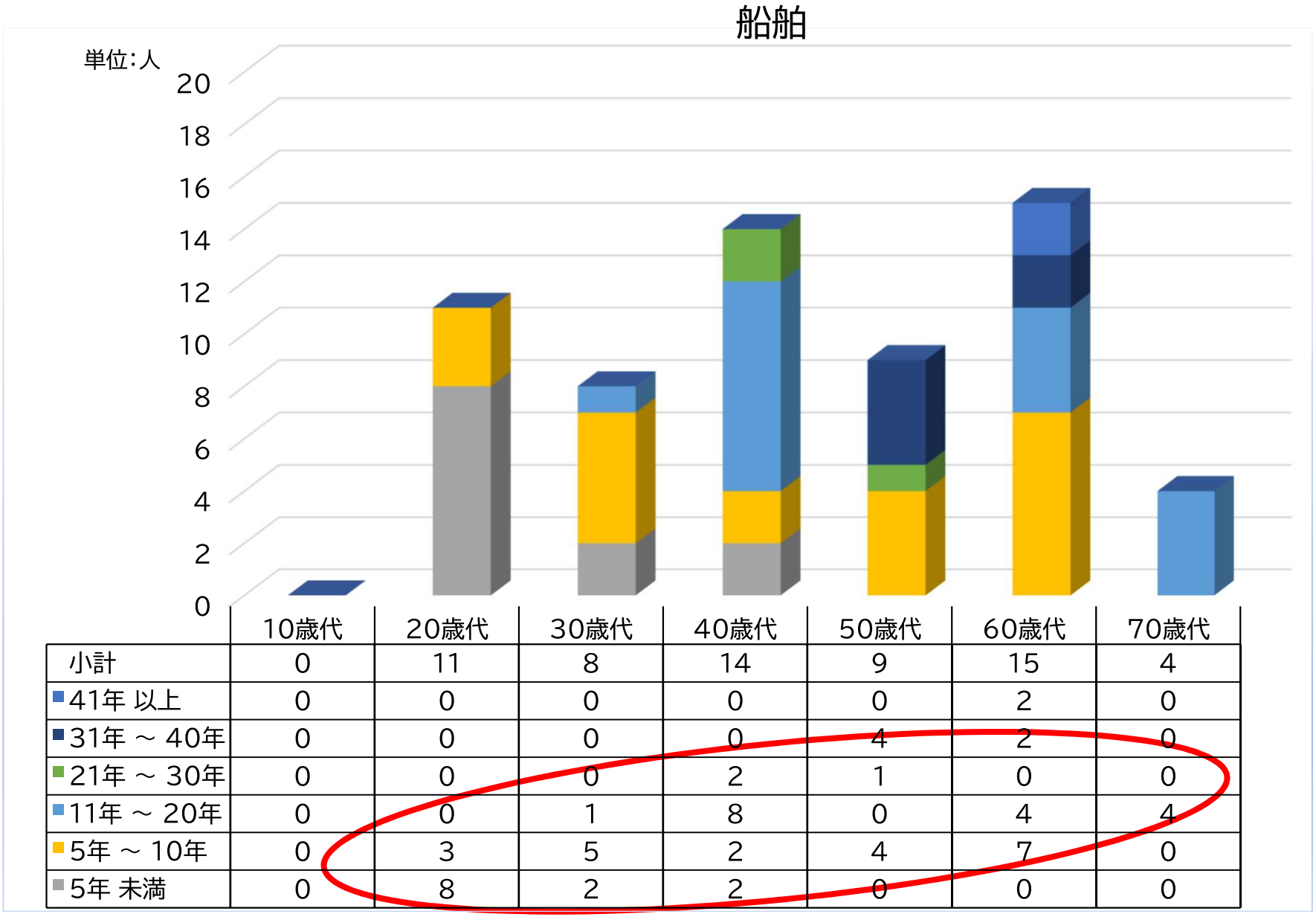
3. ヒアリング結果（Q3）③

タクシー



	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代
小計	0	0	0	4	20	39	56
41年 以上	0	0	0	0	0	1	3
31年 ～ 40年	0	0	0	0	1	2	5
21年 ～ 30年	0	0	0	0	2	2	11
11年 ～ 20年	0	0	0	2	3	10	17
5年 ～ 10年	0	0	0	0	7	6	11
5年 未満	0	0	0	2	7	18	9

3. ヒアリング結果（Q3）④



	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代
小計	0	11	8	14	9	15	4
41年 以上	0	0	0	0	0	2	0
31年 ～ 40年	0	0	0	0	4	2	0
21年 ～ 30年	0	0	0	2	1	0	0
11年 ～ 20年	0	0	1	8	0	4	4
5年 ～ 10年	0	3	5	2	4	7	0
5年 未満	0	8	2	2	0	0	0

※サンプル数が少ないため，特定の事業者の傾向により，平均年齢が低年齢化している。

４．ヒアリング結果（Q4）①

Q.4　担い手不足の解決に向けた取り組みアイデア

〈バス（乗合）〉

- 職場体験，見学会，職業相談会等の実施。
- 高等学校への訪問，就職案内。
- 移住支援として，市営住宅の申込～入居可能期間を短縮。
- 運転士の負のイメージの払拭。
- 土日祝の勤務手当の増額など，給与アップ，福利更生の拡充。
- 若者の地元企業への就職支援。
- 免許取得費用への補助金交付。
- 外国人の雇用に向けた手続きの支援。
- 若年層（新卒の大学生・高校生）の運転士獲得に向けた取り組み支援。

４．ヒアリング結果（Q4）②

〈タクシー〉

- 観光タクシーの費用を一部市が負担。
- 子育てができる水準に給与アップ。
- 二種免許取得可能年齢を引き下げ。
- 若者の地元企業への就職支援。
- 免許取得費用への補助金交付。
- 車両更新や福利厚生の充実により，従業員の就業意欲高揚。

〈船舶〉

- 福利厚生の充実（社員寮の環境改善）。
- 給与アップ。
- 採用基準の緩和（船の知識が無い方でも採用する）。
- 中学生の職場体験実施。学校や教育委員会との連携。
- 運輸事業関係者のバスツアー受け入れ。